

# 榛東村個別施設計画

—農業集落排水事業—

平成31年度 ～ 平成40年度

榛東村上下水道課

# 目 次

## 1. 処理施設について

(1) 優先順位の考え方

(2) 対象施設と状態

(3) 対策と時期・費用

## 処理施設について

### 1. 優先順位の考え方

#### (1) 計画の目的

本計画は、農業集落排水処理施設のメンテナンスサイクルの実施計画を定めることにより施設の維持管理及び更新コストの縮減及び平準化を図ることを目的とする。

#### (2) 計画の位置づけ

本計画は、「榛東村公共施設等総合管理計画」のもと、個別インフラの計画的な維持管理及び更新を推進するものである。また、本計画は、処理施設の機能保全計画である「最適整備構想」と連動した計画として策定するものである。

#### (3) 計画期間

本計画の計画期間は平成31年度から平成40年度までの10年間とし、5年ごとに見直しを行う。

#### (4) 対策の内容

- ・機能診断に基づく、処理場及び関連施設の計画的な修繕により長寿命化を促進する。
- ・施設の利用状況により、経年劣化が著しい機器については、修繕だけでなく更新も含め検討する。

#### (5) 対象施設

本計画の対象となる施設は、次頁に示す農業集落排水処理施設である。

#### (6) 対策の優先順位の考え方

当該施設は、対象地域内の下水の処理を行う施設であり、村民の生活に直結する施設であるため、処理場内で発生する設備の故障や不具合に対する修繕や改修は、最優先となる。

## 2.対象施設と状態

### (1)長岡地区農業集落排水処理場

所在地	榛東村大字長岡1-2
延床面積	524.68㎡
構造	RC造
建築年度	2005年度
耐用年数	50年
経過年数	13年
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働から13年が経過。</li> <li>・表面被覆については、局所的なはがれや割れが見られる。</li> <li>・コンクリートについては、鉄筋コンクリート構造物には全体的に異常なし。</li> <li>・ばっ気槽第2室と汚泥濃縮槽のコンクリート壁面に部分的なひび割れあり。</li> </ul>
施設の役割・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡地区の汚水処理。</li> <li>・計画処理対象人員 2,170人</li> <li>・計画日平均処理汚水量 586㎥/日。</li> </ul>
施設の効率性 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の接続率は83.53%(平成29年度末時点)</li> <li>・処理施設として利用中。</li> </ul>
重要性	区域全体の汚水処理に影響するため、最優先。

### (2)広馬場地区農業集落排水処理場

所在地	榛東村大字広馬場767-1
延床面積	564.20㎡
構造	RC造
建築年度	2011年度
耐用年数	50年
経過年数	7年
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働から7年が経過。</li> <li>・建築物の外観に異常は見られない。</li> </ul>
施設の役割・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広馬場地区の汚水処理。</li> <li>・計画処理対象人員 4,540人</li> <li>・計画日平均処理汚水量 1,226㎥/日。</li> </ul>
施設の効率性 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の接続率は59.53%(平成29年度末時点)</li> <li>・処理施設として利用中。</li> </ul>
重要性	区域全体の汚水処理に影響するため、最優先。

### 3. 対策、時期及び費用

#### (1) 長寿命化に関する対策

##### 【今後の主な取組内容】

##### ・機能診断及び最適整備構想の策定

長岡地区については、処理施設に係る機能診断及び最適整備構想の策定を実施済みであるが、広馬場地区については、長岡地区よりも後に供用開始となったため、平成31年度に策定予定となっている。

##### ・維持管理・修繕・更新

上記の最適整備構想に基づき、処理施設の維持管理及び修繕を行っていく。

また、施設管理業務を委託している事業者との毎月の定例会議において、施設の稼働に障害となるものの把握と修繕や改修が必要となるものについて調整を行い、適宜必要となる措置を講じる。

また、建築物については、下に示すとおり、総務省監修の「公共施設等更新費用試算ソフト」における標準単価・標準更新周期を参考として用いる。試算による費用は計画期間内の修繕等に係る費用を計画期間の年数で除した参考値である。

実際の取組としては、日常点検等により適宜維持補修を行うこととする。

#### (2) 更新費用の設定単価

大規模修繕	建替え
20万円/m <sup>2</sup>	36万円/m <sup>2</sup>

※更新周期は、大規模修繕を30年、建替えを60年とする。

#### (3) 設定単価により試算した更新費用額

総額	17,900,000円	*合計額(H31年度～H40年度)
平均額	559,375円	*年間平均額(H31年度～H40年度)